

市長タウンミーティングを開催しました

第5回となります今回は「みどり・自然」をテーマに市長が様々な世代の皆様のご意見やご提案を伺いました。

開催日時 令和6年3月27日（水）午後6時30分～8時

開催場所 所沢市役所大会議室

参加者 73名



市長コメント

市長に就任して5回目となりますタウンミーティングを「みどり・自然」をテーマに開催いたしました。今回は以前からご要望をいただいていた平日夕方からの開催を初めて行いました。

たくさんの市民の皆さまにご参加いただきまして、改めまして感謝申し上げます。

1時間30分という限られた時間ではありましたが、「ボランティアのあり方」、「所沢の自然の大切さ」、「落ち葉掃きについて」、「自然に配慮した開発」、「子どもと一緒に生物多様性を考えられる催し」など、様々なご意見をいただきました。

いただきましたご意見・ご提案を今後の市政に活かして参りたいと考えております。有難うございました。

参加者の声

1 公園の樹木から花びらや落ち葉があり、道路の清掃をしなければならぬ。市は公園内の清掃はするが、道路はやらない。子どもや老人が転んだり、滑ったりしてけがをする場合があるので、公園の樹木の管理を市としてしっかりやってほしい

2 日比田調節池は埼玉県の管理施設ですが、計画を立て、申請をして、許可を得れば、利用可能になります。以前、町内会でビオトープを作ってほしいと要望しましたが、市は県の施設だからできない。県は市がきちんと管理しないと許可しないということだった。

他市の例だとたくさんのボランティア団体が関わって、うまく割り振りをしながら、管理しているそうです。市と市民がいろいろと知恵を出して、これらの課題をクリアするよう研究をしてほしい。

3 ボランティアの数が足りないと思うのですが、お金を支払って雇用する形で増やすことはできないのでしょうか。

多少なりとも報酬を払えば、もしできなければ、市民税の優遇とかして、ボランティアではないけど、ちょっとお手伝いできませんかということをするれば、メンバーが少しでも集まるのではないかと思います。

4 私は所沢に引っ越してきたのですが、新所沢駅西口のけやき通りのケヤキ並木は10月から11月にかけて、毎日のように落葉して幸せな気分になりました。駅の往來を毎日している人も知らず知らずのうちに街路樹を見ながら生きている。そんな街路樹でも、人々に癒しを与え、いろいろな力を与えていることにご理解をいただきたい。

また、ボランティアですが、遠くに行く足がないという問題があ

るので、ちょっとそういう支援をしていただければ、いろんなところで活動したいと思っていますので、是非そのような機会を作っていただければと思います。

5 私は小さい子どもがいた頃、街中をよく散歩していたのですが、暑い中だと子どもはすぐに木陰を求め、入りたがります。ですから、街中に木を植えていただきたいと思います。

6 ここからすぐ見えるところに航空公園があります。この中に広がるような緑、子供たちが安心して探求し遊べる空間が自然そのものとして所沢には存在していると、それほど所沢市は自然に踏み入り自然を整備し、緑を市民に開放していると、私達大人の視点で言うことができるのであれば、その緑や自然は子供たちの成長を見守っていただろうと思っています。

自治体は住民の暮らしと福祉を支えるために、自らが処理し、人々の利用をもって、福祉の増進を目的とする様々な事業を展開しています。

先ほど言ったような自然を整備し、緑を市民に開放する、そうしたものもそうした事業の一環だと思います。

7 「みどり・自然」ですと所沢市の歴史の中に、トトロの問題というものがありました。

トトロの山の横に、墓地ができるということで、もしそのとき墓地ができれば、宮崎駿さんが、早稲田大学ができたときに自然が壊れるということで、3億円の寄付をして自然を一気に買い取り、この自然を守りたいという気持ちが失われる歴史的なことがございました。

その際に、毎月会議を行いました。小野塚市長はいつも何が起きているのか、市民の皆さんは何を言っているのか、自然がどうなるのかなといつも片隅にいらっしゃって、その市民の声を聞く姿勢をずっと取っていただきました。

署名を行い、その当時の市長にお預けに行きました65,000人の署名がありました。いろいろありましたが、結果、墓地ということはなくなりまして、今の場所が守られているという経緯でございます。

小野塚市長が既に「みどり・自然」に対して思う気持ちは、その時熱く感じましたし、大事にしてください。その所沢の多くの自然を大事にこれからも市民のためにしてください方だと感謝申し上げている事を一言お礼申し上げます。

- 8 市長のお話を伺って、森の割合がだいぶ減っていると思う。私の家の近くに老人ホームがありまして、新しく老人ホームを建てるために森林を伐採したりして、人が住むためにはある程度そういう面もあって致し方ないのかなあ、というトレードオフの関係なのかなっていうのをちょっと考えている今日この頃なんです。結局のところ、財源がないっていうところに落ち着いているのかなと思います。

ひとつの解決案として、直接そのみどりに対して地方債を発行するのはちょっと難しいかとは思いますが、そこら辺をちょっと起債していただいでですね、既にアメリカではちょっとやられているんですけどその地方債を中央銀行に引き受けてもらう、一部そういうやり方でお金を捻出するっていうのが一つと、もう一つは単純に、無駄なく結構切り詰めて真面目にやってらっしゃると思うので、地方交付税交付金の増額を国に直接求めていただく、そういった面で何とか資金面捻出していただければなと思います。

- 9 市長への手紙を出したところ、お返事いただきありがとうございます。

所沢へ引越ししたときは秋だったのですが、次の年の夏にみどりがあると聞いて、夜1人で虫を取りに行ったんですけど、そしたら、東京では味わえないような自然・みどりがたくさんあってクワガタとかカブトムシとかカナブンとかハチとか、いろいろいたのですけ

ど、これは東京ではなかなか味わえないわけですよ。

それが友達と一緒にいったら、虫がたくさん取れるから、所沢はすごいなと思っていたら、冬になってから木が切られたり、春になると、虫を取る原っぱがあるますが、トトロの森の12号と原っぱが石で埋められてしまって、建物みたいなものが建てられてしまいました。

その前にもう森があったところも伐採されて、建物が建てられて、どんどんこういう出来事が起こるから自然をちょっと大切に思っしてほしいと思って、手紙を出しました。

10 私も自然を残してほしいと思っています。

私は東所沢公園のそばに住んでいて、地域猫活動なんかをしているのですが、東所沢では、このところ開発が進んで、宅地化にされていたりして、開発がとても進んでいるような気がしています。

ですがそれはそれでしょうかないかと思っていましたが、地域猫活動をして、猫に餌をあげる場所に最近は大キが来るようになったのです。

でも私のやっているところだけではなくて、東所沢では10箇所以上そういう場所があるんですけども、そういう場所に野生動物が来るのですね。

それで私はもう本当にびっくりしてたぬきも初めてだし、それで松郷の山なんかも見に行ったら宅地になってもいるし、生態系をもっと考えて、開発をしてもらいたいなあとと思っています。

それで、うちの家のそばにその東所沢公園であるのですが、一頃、安心安全なんていう言葉が流行りのように言われて、なんていうか人間にとっての快適な緑にしていると思います。窓を開けると虫の声も聞こえる場所ですけど、鳥の声も聞こえますけれど、鳥にとっては水場もないし、それから、虫も年を追うごとに声が小さくなっていっていると思います。自然を自然らしく使った方がいいのではないのかという提案です。

1 1 財源についてですが、先ほどちょっとおっしゃったと思うんですけど中央銀行による直接引き受けですか、現時点では多分中央銀行がですね、いわゆる債権を中央銀行に直接引き受けることは多分法律上アウトだと思うので、難しいと思っています。私の中でできそうだなと思っているものが、二つあります。

一つがふるさと納税の拡充です。すごくもったいないなと思うのが西武ライオンズとトトロです。

私、3月に見たのですけどね、日本ファイターズがですね、あの始球式の投げられる権利っていうのをふるさと納税10万円分を出したんですよ。

即完売なので、これって西武鉄道に掛け合って、絶対できるので是非やっていただきたいと思います。

もう一つがですね、自治体ができる、いわゆるお金の発行の方法として私が考えているものが商品券です。商品券は絶対に自治体の同じ市内の誰かの手元に残ります。例えば地元の商店街の誰かが営んでいるところで引き換えられますという商品券であれば、その商品券持っている例えば主婦の方が使ったら主婦の方も嬉しい。そうすると、所沢市民の方はもう1回使えるわけですよ、最低でも2人幸せになりますので、かなり効率の良い財政出動になるはずだと思っていますので、ぜひやっていただきたいなと思います。

今の日本は、所沢市もそうだと思うのですよ。いわゆる需要不足だと思っていますので、積極財政派としてもっと活動をしていただきたい。

1 2 私はですね所沢の駅を降りますと、本当に何か暗いイメージがすごくありまして、本当に町中に何も無いっていう感じがする。

そうするとやっぱり寂しいなと思うので、やっぱり先ほどの方もおっしゃいましたが、街の中もやっぱりお花がほしいなっています。また、ポイ捨てが本当に多いんですね。結構ゴミも固まってお

いて、空き缶を捨てている方がいらっしゃるので、ポイ捨て禁止とかそういう立て看板とかをつけてほしいなと思います。

13 落ち葉掃きの件で、所沢にはですね「武蔵野の落ち葉堆肥農法」が世界農業遺産になりましたけども、その協議会に入っている農家さんが7件あるのですよ。ただし、イベントで市民を集めて、落ち葉掃きを実施している農家がそのうち3件しかないそうです。

これだと、いつ絶えるかわからないので、是非、イベントを開催している農家への支援を手厚くしていただきたいと思います。柳瀬地区の落ち葉掃きを今年の1月の初めにやりましたが、おかげさまで世界農業遺産になって、所沢の広報に掲載されて、私達はこれまで10年ぐらい、手伝っているのですが、これまで100名弱ぐらいの参加でしたが、今年は140名集まった、それだけ効果があった、世界遺産効果、そうすると来年は世界遺産効果が薄れてきちゃう。

どうしてもやっぱり、人がたくさん集まることが大事なので、ホームページを続けてほしいし、農家さんの支援をぜひお願いしたいと思いますし、それで集まってくれば、柳瀬まちづくりセンターのすぐ隣が、滝の城址の神社の持ち主の名前になっているらしいのですが、そこは手付かずなんですね。そうすると人数が集まれば、そっちの方も手入れをすることができるので、ぜひご支援をよろしくお願いします。

14 街路樹のことで一つお話したいことがございまして、申し上げたことございまして、先日、市長への手紙に書きました、行政道路の消防署の前からマクドナルドもそうですけど、国道463号ですかね、ありますけれども、今、自転車のレーンの設置工事で改造しているところですね、街路樹を取っ払って、整備していますが、何とかありませんかってことで手紙に書いたのですが、担当部局の方から、あれは県の管理なので、そういう要望がありましたってことをお伝えしますという返事をいただいて、今日のお話聞いてい

まして、所沢はこれだけ緑があって基本理念もあってバランスも当然いろんなところにあるわけで、わざわざ生えている木を切ることもないと思いますし、県の管轄だからといって何も所沢の市道はハナミズキでしたっけね、木を植えるのだけでも、県の道路は管轄じゃないから手を出しませんということではなくて、こういう理念があるわけですから、それはコミュニケーションをした上で、進めていただければと思います。

単に部局同士の事務連絡じゃなくて、ちゃんと県には、所沢はこういう理念であるってことを理解していただいた上で、県がどうしても切らなきゃいけないのだったら、それは仕方ありませんけれども、詰めていただければと思います。

これは街路樹だけの問題じゃなくて、やはり県と市とのコミュニケーションというか、どっちが上とか下ということではなくて、その取り組みの仕方ということをお考えいただいてもよろしいのではないかと、植わっている木を切ることはないと思いますので、そのところはどうぞよろしくお願いいたします。

15 市内の女性団体の役員をしております。私が言いたいのは、私達の会で、年に一度学校をお尋ねいたします。そのときにいろんなことを聞くのですが、安松小では、ビオトープというのを作っていて、生徒たちが結構いろいろな活動されているということ、校長先生などからお伺いして、とてもいい活動だなと思っています。金山公園ってご存知でしょうか、柳瀬川で清瀬のすぐ近くにある公園ですけど、そこで、水に生きる生き物たちを大事に、見守り管理していくという市民が参加しています。清瀬の市民ですけど、いい活動だなと思います。

ぜひ所沢でも、そういう子供たちと一緒に何かこうできるという生物多様性を実践できるようなものが生まれていくといいかなあと思っているところで、ただ学習林の方は、私もいろんな学校を訪問するとき、学習林も結構減っているような気がするんです。

だからここを切らなくていいのにと思うところがあるのと、先ほ

どおっしゃったように、人間の都合で切っているなっているのがあります。

やっぱり、そこの生きている動物とか生物のことも考えた管理の仕方ってというのはできないのかなと、これからそれを目指さないといけないだろうと思っていますので、その方向を目指してほしい。圧倒的に今再開発で木が減っているというのは、学習林だけじゃなくて先ほどね、小学生の男の子さんが言ってくださった通り、雑木林がどんどんなくなっているっていうのは実感としてありますので、減っていくのなら増やすっていう戦略もぜひ考えていただきたい。私達もここで木を増やすっていう戦略も市民と一緒に全体でやりたいと思っています。